

教科	家庭	単元名	住まいのこころよさ
----	----	-----	-----------

## 本時のねらい

- ・住生活について関心を持ち、住まいの基本的な役割や特徴を知る。
- ・様々な生活によって住まい方の工夫があることを理解し、家族が心地よく住むために、住まい方を工夫することができる。

## 本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

- ・ロイロノートを使って、自分の思考や工夫した点を発表することで、多面的に考えを共有できる。
- ・考えを図に表す活動で、ロイロノートを使うことで、何度も書き直しやすくなり、試行錯誤しながら進めることができる。

## 活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・ロイロノート
- ・大型テレビ

## 本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の学習内容を確認する。</li> <li>「お家にどのような工夫があれば心地よく過ごすことができるだろうか」</li> <li>・本時のめあてを確認し、学習の見通しをもつ。</li> <li>「誰もがこちよく生活できる工夫をしよう」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が発表し、前時までに学んだ内容の確認を行う。</li> </ul>
展開 (35分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・磯野家の現在の間取り図で改善ができそうな部分を、家族構成と比較し、考えをワークシートに記入する。</li> <li>・考えを発表する。</li> <li>・5年後の磯野家の状況と家族構成の変化を記した図を端末の画面で見ながら確認する。【写真1】</li> <li>・磯野家の5年後を想像して家をリフォームする。(ロイロノートで間取り図に加筆して考えを書き込む)【写真2】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・間取り図と家族構成については黒板で示し、全体で確認をする。</li> <li>・ロイロノートのカードに、間取り図と5年後の家族の状況をまとめておき、生徒に送信する。</li> <li>・書き込み方を事前にワークシートに示しておく。(新たに作る壁は赤色、壁を取り払いたいときは白色など)</li> </ul>
まとめ (10分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りの記入をする【写真3】</li> <li>・ロイロノートでみんなの意見を共有する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りの観点を説明しておく「家族みんなが快適に生活するための工夫として大切なことは何だろうか」</li> <li>・数名の生徒が発表し、考えを共有する。</li> </ul>

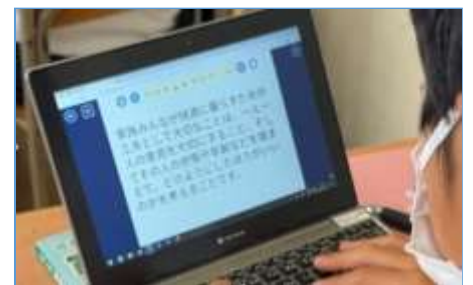
## 1人1台端末を活用した活動の様子



【写真1】5年後の磯野家の状況を確認している様子



【写真2】リフォームする場所を間取り図に書き込んでいる様子



【写真3】振り返りを記入している様子

## 児童生徒の反応や変容

- ・リフォームしたいところへの書き込みを端末上で行うことができるので、何度も書いたり消したりしながらより良い間取りに近づけることができていた。
- ・共有機能を用いることで、多くのクラスメイトの考えを知ることができ、こちよく生活できる工夫について学びを深めることができていた様子であった。

## 授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・めあてを明確にして授業を進めることで、家族みんながこちよく生活することができるリフォームになるか、考えがぶれないように進めることができる。
- ・発表や端末の共有機能を有効活用することで、住まい方の工夫について、さまざまな考えに触れることで深まっていく。
- ・振り返りの視点を明確にすることで、この授業における生徒の考えの変容や身についたことを確認することができる。